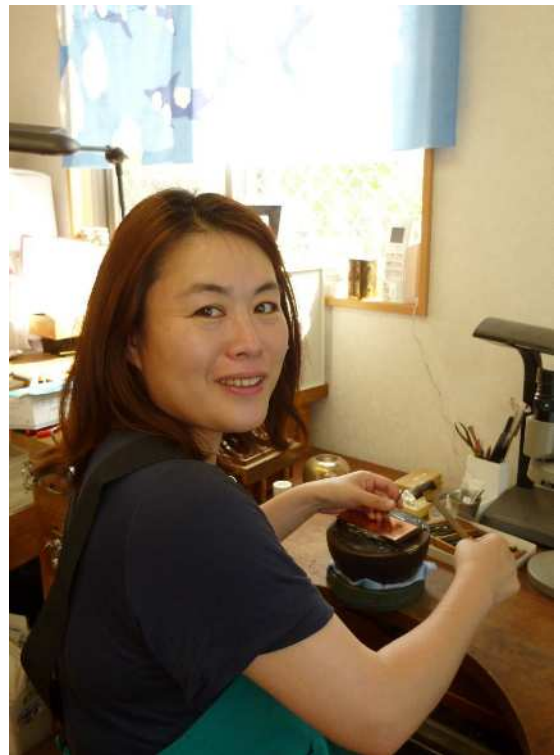


令和2年度荒川区登録無形文化財(工芸技術)

- ・名称:彫金^{ちようきん}
- ・保持者:田村 尚子氏^{たむら なおこ}
(号・北東尚呼^{あいなおこ})
- ・住所:西日暮里一丁目

プロフィール

保持者は、富山県高岡市生れ。平成4年(1992)、高岡短期大学産業工芸学科金属工芸専攻を卒業したのち、高岡短期大学専攻科産業造形専攻へ進み、同10年に修了した。この間に、高岡銅器の彫金職人である北光生氏(現代の名工)、佐野宏行氏(伝統工芸士)の指導を受け、彫りと各種象嵌^{ぞうがん}の技術を修得。東京藝術大学大学院美術研究科彫金専攻修士課程へ進み同12年に修了。江戸の金工・柳川派12代目桂盛仁氏(重要無形文化財保持者)に師事した。同16年日本伝統工芸展に初入選したほか、様々な工芸展に入選。同25年日本伝統工芸会会員。



デザインの作成から彫り、象嵌、研磨、仕上げを一貫して行う。花瓶、香立て、香合、各種アクセサリーなど多岐にわたる。宮内庁の依頼で銀製小物を手掛けた経験を持ち、鎌倉時代の仏具や美術品などの修復にも携わっている。

デザインの作成から彫り、象嵌、研磨、仕上げを一貫して行う。花瓶、香立て、香合、各種アクセサリーなど多岐にわたる。宮内庁の依頼で銀製小物を手掛けた経験を持ち、鎌倉時代の仏具や美術品などの修復にも携わっている。

彫金の技術について

彫金は、鑿^{たがね}で装身具や器物に文様を彫り、透かしを入れ、象嵌を施す技術。古墳時代に伝播して以来、装身具、武具、祭礼具の製作に広く用いられてきた。特に江戸時代に、刀装具の装飾、鐔^{つば}、三所物(小柄・筭・目貫^{みところもの こづか こうがい めぬき})に細かな彫りや象嵌を施す技術が発展。彫金師は鐔師とも呼ばれていた。将軍家・大名家の御用を務めた家彫の後藤家のみならず、新たな在野の流派である町彫の横谷家、奈良家、柳川家などが活躍した。明治時代の廃刀令により、鐔師たちは装身具や美術工芸品づくりへと転換。西欧向けの花瓶等の装飾技法として開花し、海外の展覧会などでも評価を確立させた。今日においても実用品のみならず美術工芸品として日本の伝統文化・習俗のなかに根づいており、その技術は区にとって貴重である。

《用具・工具・材料》

<用具・工具等>

ヤニダイ(別名オカマ)、タマ(器物の固定用)、ルーペ、彫り鑿(毛彫り、丸毛彫り、片切彫り)、象嵌用鑿(剣先、蹴上げ、象嵌なめくり、小判、足鑿)、打ち鑿(坊主、半坊主、なめくり、棗、小判)、木鑿、キサゲ(研磨用)、金ヤスリ、サンドペーパー、炭(駿河炭、朴炭)、彫金机、オタフク(彫金用の小さな金槌)など

<材 料>

金、銀、赤銅、四分一(四分の一銀含有、白四分一・上四分一・並四分一〈内三分、外三分〉・黒四分一)、黒味銅、鑑(1分鑑、2分鑑、3分鑑、4分鑑、5分鑑、7分鑑、9分鑑、早鑑、銀鑑)、ホウ砂、中性洗剤、大根おろし、ザボンエナメル、松脂、地の粉、緑青、硫酸銅、水銀など

《工 程》—器物「月の光」の場合—

(1) 器部分の研磨

器部分(鍛金職人に外注)の彫りに入る前に、加工面を金ヤスリ、サンドペーパー、キサゲ、炭の順に用いて表面を研磨する。

(2) 器部分の彫り

変形を防ぐため、器の内部に溶かした松脂を入れて固める。松脂が固まったら、鑿で彫る。

(3) 象嵌

表面の模様を線象嵌、肉象嵌の順に加工していく。

(4) 研磨 (1)と同じ手順で研磨し、加工面を整える。

(5) 灰汁洗い

表面の油膜を中性洗剤、大根おろしの汁を順に使って洗い取り、着色の下準備をする。かつては洗剤でなく灰汁を使用したことから、これを「灰汁洗い」という。

(6) 煮色仕上げ 緑青、硫酸銅の入った鍋に作品を入れて煮込み、着色する。

(7) 水洗い 鍋からあげて水で全体を濯ぐ。

(8) からぶき 綿などの柔らかい布で表面の水分を拭きとる。

(9) 錆止め ザボンエナメルを作品の表面に塗布して、腐食や変色を防ぎ、つやを出す。

(10) 蓋の地金取り 蓋の大きさに合わせて金切鋏で地金を切り取る。

(11) 鈍し 熱を加えて、オタフクで蓋を成形する。

(12) 打ち出し

蓋を裏面からオタフクで叩いて打ち出して盛り上がらせる。反転させ、表面から複数の鑿を使って、鈕となる狐の親子の形を打ち出す。

(13) 鈕部分の研磨

蓋をヤニダイに固定し、キサゲや炭を使って研磨し、打ち出した表面を整える。

(14) 鈕部分の金消しによる着色

金と水銀を混ぜあわせて加熱して溶かし、アマルガム合金をつくる。鈕部分(狐の親子)にアマルガム合金を塗り、上から熱して、水銀のみを蒸発させ、金色に仕上げる。

(15) 完成



蓋に狐の親子の姿をデザインした
器物「月の光」